

# 第46回マイコトキシン研究会学術講演会

---

- ・ 開催日平成 10 年 9 月 4 日（金曜日）
  - ・ 開催場所 いさご会館（川崎市）
- 

**受付** 9 : 45 ~

**所長挨拶** 10 : 00 ~ 10 : 15

**一般講演** 10 : 15 ~ 12 : 00

**座長** 高橋治男（千葉県衛生研究所）

## 1 国産および輸入柑橘類の市場病害菌と防カビ剤に対する感受性

一戸正勝<sup>1)</sup>、相良香織<sup>1)</sup>、矢澤麻美子<sup>1)</sup>、馮淑玉<sup>1)</sup>、萩原俊司<sup>2)</sup>、藤本太久馬<sup>2)</sup>

（東京家政大学食品衛生研究室<sup>1)</sup>、川崎市中央卸売市場食品衛生検査所<sup>2)</sup>）

## 2 病変りんごの真菌汚染とパツリン分布

上村 尚<sup>1)</sup>、田村直子<sup>2)</sup>、矢澤麻美子<sup>2)</sup>、一戸正勝<sup>2)</sup>

（東京都立衛生研究所<sup>1)</sup>、東京家政大学食品衛生研究室<sup>2)</sup>）

## 3 国内で分離されたいくつかのアフラトキシン産生菌の特徴

伊藤陽子<sup>1)</sup>、後藤哲久<sup>2)</sup>、S.W.Peterson<sup>3)</sup>

（野菜・茶業試験場<sup>1)</sup>、食品総合研究所<sup>2)</sup>、National Center for Agricultural Utilization Reserch<sup>3)</sup>）

座長 田端節子（東京都立衛生研究所）

4 国産及び輸入ビールのマイコトキシン汚染について

中島正博、坪内春夫、宮部正樹

（名古屋市衛生研究所）

5 中国におけるヒトの赤かびの中毒原因穀類から検出されるマイコトキシン

芳澤宅實<sup>1)</sup>、李鳳琴<sup>2)</sup>、羅雪雲<sup>2)</sup>

（香川大学農学部<sup>1)</sup>、中国衛生部食品衛生監督検験所<sup>2)</sup>）

座長 小西良子（国立感染症研究所）

6 アフラトキシコールからアフラトキシンB<sub>1</sub>の生成と酵素精製

矢部希見子<sup>1)</sup>、千早直美<sup>1)</sup>、田中健治<sup>1)</sup>、浜崎 徹<sup>2)</sup>

（農林水産省食品総合研究所<sup>1)</sup>、鳥取大学農学部<sup>2)</sup>）

7 Epurprin A, B および C によるミトコンドリア呼吸阻害作用

その2. A による阻害増強作用

河合 清、北川 章（中京女子大学健康科学部）

昼休み 12:00 ~ 13:00

## 特別講演 13:00～14:00

司会 赤尾三太郎（千葉大真核微生物研究センター）

「放線菌が生産するアフラトキシン生産阻害物質 Aflastacin A に関する研究」

小野 誠（森永製菓研究所）

## 休憩 14:00～14:20

## シンポジウム 14:20～16:50

「魚介類のマリントキシンについて」

座長 成田弘子（日本大学短期大学部） 上村 尚（東京都立衛生研究所）

1. 浜名湖産二枚貝の麻痺性貝毒による毒化： 成田弘子（日本大学短期大学部）
2. 茨城産二枚貝の麻痺性貝毒について： 村上りつ子（茨城県衛生研究所）
3. 培養細胞を用いた麻痺性貝毒及びシガテラ毒素の検出： 春日文字子（国立感染症研究所）
4. ラパス煮貝の苦い話： 土井佳代 ・ 佐藤修二（神奈川県衛生研究所）
5. 神経性貝毒，特にプレベトキシンによる食中毒について： 石田均司（静岡県立大学）
6. 川崎市における魚介類毒の検査状況（平成元年度～平成9年度）： 森 悦男（川崎市衛生研究所）

## 閉会の辞

学会世話人 森 悦男

懇親会 17:30～18:30 川崎市役所本庁舎 レストラン 参加費 2,500円